

「あなたにやさしい」をプラス → 刺激の低減

pH 値を抑えたアルカリ設計

毛髪のダメージに影響が考えられる pH 値に配慮し、薬剤の総アルカリ量を抑える事で、頭皮や毛髪へのストレスが軽減され、カラーリングを楽しんで頂けることが可能になりました。

毛髪に吸着し、頭皮には残留しにくいクリーム処方

カラー剤のクリームの粘稠性^{ねんちようせい}に工夫を施した結果、頭皮への付着が少なく、毛髪への吸着を高くした処方が可能になり、頭皮への色素残留を抑えながら毛髪をしっかりと染め上げます。
頭皮にヘアカラーが付着しても、頭皮に存在するカタラーゼ(酵素)の働きで頭皮での酸化重合を抑制します。

新アレルギー理論に対応する植物エキスの追究

ヘアカラーで問題になりがちな事例を考慮し、新アレルギー理論に基づいた植物エキスを選択。不安の軽減に配慮しました。



<イメージ図>

イメージ通りの色味を表現

お客様の要望に容易に応えられるよう、複数の色味の組み合わせ方を解りやすくし、イメージ通りの演出と計算ができるよう、彩度と色調にこだわり、使用方法にもやさしさを追求しました。また、サロン独自の色でお客様にアプローチできます。

「やさしい香り」をプラス → 癒される香り成分

13種の天然精油の香りが段階的に持続

カラーリング中にもお客様に香りを楽しんで頂けるよう、フレッシュシトラスをベースに、ハーバルグリーンをアクセントにした爽やかなグリーンフローラルの香りと、13種類の[※]天然精油(香り成分)を配合しました。

カラー剤の塗り始めから洗い流すまで、段階的に天然精油の香りが持続し、色味だけでなく、香りも楽しんで頂けるヘアカラーです。

※天然精油の成分名は香料です。

天然精油



オレンジ油



ベルガモット果実油



ローズマリー油



ダマスクバラ花油



センチフォリアバラ花油



セイヨウハッカ油



ユーカリ葉油



ニオイテンジクアオイ油



プチグレン油



スペアミント油



ローレル油



マヨラナ葉油



ビターオレンジ花油

「水分・油分・アミノ酸」をプラス → 自然なツヤ感・こだわりの質感

毛髪理論に基づいた「水分」「油分」「アミノ酸」のバランスを整えて、自然なツヤ感と弾力性のある滑らかな質感を与えます。

【水分の補給】 グリコシルトレハロース、水添デンプン分解物(毛髪保護成分)

糖成分が特有の保湿効果を与え、毛髪の保護層を形成、内部からの染料の流出や水分の蒸散を防ぎ、ツヤ感をアップさせます。同時に頭皮に対しての刺激を緩和します。

【油分の補給】 フィトステロール誘導体・大豆リン脂質(毛髪保護成分)

植物由来の細胞間脂質類似成分を使用。油分の補給や毛髪内部の補修に働きます。脂質成分が毛髪の潤滑油として働き、滑らかな質感を与えます。

さらに、肌の角質層に存在する細胞間脂質に似た構造をもつため、皮膚に対しても穏やかさを与えます。

【アミノ酸の補給】 タウリン(毛髪補修成分)

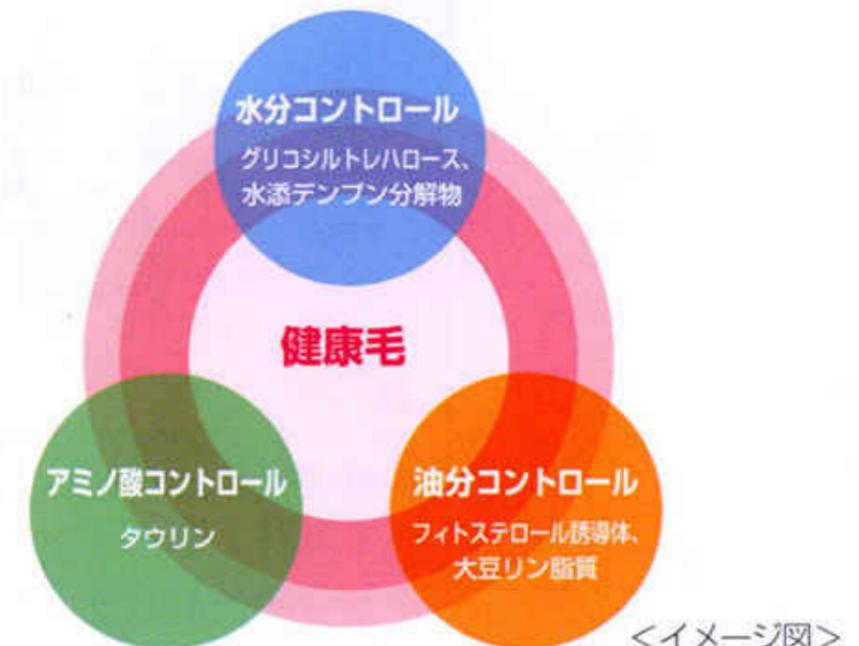
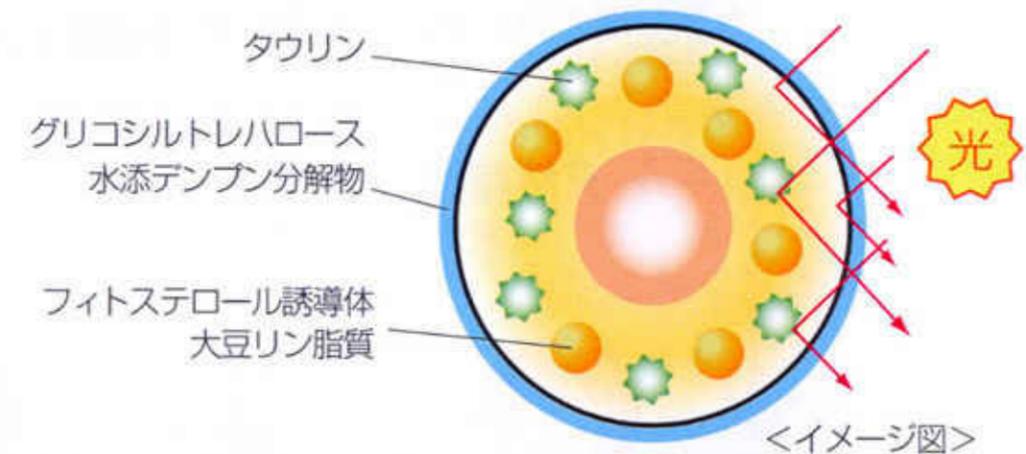
配座理論を構築する含硫アミノ酸。

タウリンが毛髪に弾力性を与え、ヘアカラーによるダメージを軽減します。

また、アミノ酸と水分が結びつき合うことで、カラーの定着性も向上します。

《自然なツヤ感・こだわりの質感》

(反射率が高い)



「新技術へのこだわり」をプラス → 色持ちの良いハイフィクシング処方

毛髪内部の水分や CMC 成分が流出すると、質感の低下や褪色の原因になりがちです。

HM カラープラスでは、毛髪へのダメージを軽減することに着目しました。植物由来成分が毛髪を補修する事で、色持ちの向上が期待できます (ハイフィクシング処方[※])。また、色の深みや彩りを豊かに表現し、褪色と色調の変化が少ないヘアカラーの実現が可能になりました。

※ハイフィクシングとは、high (= 高い) と fixing (= 固定、定着) を表し、高い染着性を持ち、毛髪に固定されるという意味。

